

11月



2021年

みやま

第282号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/> 〔e-mail〕 hhsp1966@violin.ocn.ne.jp



厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課長 林 修一郎先生が、当院に視察に来られました

去る令和3年10月26日に、厚労省の精神・障害保健課の林課長、心の健康支援室・依存症対策推進室（併任）で相談支援専門官の名雪和美様、自立支援医療係の大和田多見様ともう1人精神保健指定医担当の方、4名でご来院されました。あまり、精神科病院に足を踏み入れた経験のない方もおられたので、当院が標準的な病院であるかはやや心配しながらも、約2時間半近く、隅々まで見学していただきました。林課長は、過去に精神保健課や、診療報酬を決める保険局医療課の課長補佐経験があり、精神保健行政は、ライフワークとして、思い入れがあるとおっしゃっていただいている数少ない官僚です。見学の後、素晴らしいスタッフがたくさんおられて非常に良い病院だという感想をいただきました。スタッフを褒められるのが一番嬉しい私としては、本当に良い思い出になりました。

院長 平川 淳一

【表紙】 院長挨拶 【P2】 病棟たより（東5病棟） 【P3】 地域生活支援室より 【P4】 事務室から
【P5】 退院時アンケート推移グラフ 【P6】 栄養だより 予告 郷土料理～愛媛県～

東5病棟に異動して

今年3月に東5病棟に異動し閉鎖病棟から開放病棟という環境の違いに不安な毎日でした。患者様の処置、ケアにと時間配分しながらの毎日から一遍し、申し送りを終えると患者様は作業療法室に行かれています。病棟には数人の患者様しかいませんでした。個々にリハビリに励んでいる患者様を見ながら「私は何をすればいいんだろう」そんな思いを感じながら、患者様がこの先退院に向け支援していく事は何だろう等、考える日々でした。東5病棟には、前師長が考案して作られたシャンティという1室があります（写真）。シャンティとは、ワンルームのアパートを想像して作られている部屋です。生活に必要なとされている家具を配置、退院後の生活をイメージし生活に対する不安を軽減すべき場所となっています。



シャンティ

コロナ禍のため、グループホームへの試験外泊が途絶えている中、この1室、シャンティが重要な役割をはたしてくれる場所となっています。生活の不安を解消できる場所シャンティがあるからこそ、生活スキルの評価が出来、自信を持ち退院へと繋げられると思えました。また、慢性期でもリハビリが出来る事が、身体機能の維持、向上にも繋げられ体力への不安解消の1つと感じています。そして、歯科検診、早期治療、磨き方指導等、他部署との連携体制も整っており、リハビリが出来る事、歯科で検診し早期治療が出来る事は大きな魅力であり、より満足して退院に繋げられることと思っています。

退院して地域で過ごされるのは患者様であり、生活していくのも患者様、多種多様な不安が解消され、自信を持ち退院に向けられるように支援していく事が私達職員の役割と感じています。多くの患者様が地域で安心した生活が出来るように、私達の満足ではなく患者様が満足していけるよう支援していきたいと思えます。そして、退院した時に困らないように「その人らしい」生活が出来るように支援していきたいと思えます。

東5病棟 主任 看護師 杉本 洋子

美山ヒルズ 第3(滞在型)の生活支援について

地域生活支援室より

「みやま」5月号にて“美山ヒルズ通過型”で提供している生活支援を紹介させて頂きました。その通過型のホームより徒歩15分程のところに、滞在型の美山ヒルズ第3（以下、第3）があります。

第3は、10年前に“ずっとホームで暮らしたい”といった利用者様からの声で立ち上がりました。単身生活への移行が困難と総合的にアセスメントされた方や、単身生活をされていたOBで一人での生活の継続が困難に至った方も対象となりました。今回は第3の生活支援を紹介致します。

金銭管理…通過型同様、収入に応じてやりくりできるよう支援しています。お金を下ろすのが苦手な方は銀行へ同行したり、お金を使いすぎてしまう方は、レシートや出納帳を確認し予算立てを一緒に行っています。また不安な時は金銭を預かることも行っています。それぞれの利用者が、できる金銭管理方法を一緒に模索しています。

掃除支援…個々に応じて、出来ることは行っていたら、出来ない部分は一緒に取り組んでいます。体調等により臨機応変に対応しています。

食生活の支援…食事の提供は行っていないため、食事の調達から調理等個々に応じて対応しています。希望する方はスーパーやコンビニへ同行し、簡単に安く栄養バランスのとれた商品を紹介したり、調理も一緒に行います。調達が難しい方は宅配食を利用されている方もいらっしゃいます。また第3は利用者

様同士の距離感を保つことを考慮し、料理会は開催しておりません。ですが、隔月で出前会と食事会を行っています。食事会ではボランティアの方にも来ていただき季節を感じて



いただけるような料理を提供しています。

健康管理…毎週木曜日と日曜日に集会室にて体操を行っています。その際フレイルに関してや、口腔ケアの重要性等を発信しています。また内科的疾患を有している方は訪問看護と連携し受診同行したり、栄養士による栄養指導に同席しています。

滞在型は通過型とは異なり長期的に暮らす場所です。そのため高齢化に伴い介護保険サービス（デイサービスや福祉用具）を利用されている方もいます。また、単身生活移行可能な方は単身生活へ向けての支援も行っています。それぞれの希望する生活を送れるよう支援し、当施設でカバーできない生活上の課題は様々なサービスで補い、少しでも地域生活を継続できるよう勘案しています。

美山ヒルズ 生活支援員 星田 臣子

光生会における経理課紹介&ミニクイズ “簿記に挑戦！”

事務室から

医療法人社団光生会には平川病院の他にも事業所がありますが、いくつご存じでしょうか？
光生会は、平川病院を含め下記の10か所の事業所を運営しております。

＜医療施設＞

- ・平川病院
- ・陵南診療所

＜自立支援施設＞

- ・グループホーム ケアホーム 美山ヒルズ

＜介護施設＞

- ・介護老人保健施設 ハートランドぐらんぱぐらんま
- ・居宅介護支援事業所ぐらんぱぐらんま・八王子市地域包括支援センターもとはち南
- ・八王子市高齢者在宅サービスセンター長房・八王子市地域包括支援センター恩方
- ・八王子市地域包括支援センター長房・八王子市シルバー見守り相談室 長房

経理課の業務は平川病院だけではありません。なんと、これらすべての事業所の経理業務を経理課が中心となって行っています。取引先業者への支払いや社保・国保からの入金などすべての入出金を管理及び帳簿記入、リース物件や各種保険の管理、各事業所から上がってくる予算データを取りまとめ法人全体の予算書の作成、そして1年間の締めとして決算業務などを行っています。医療・介護・自立支援それぞれの会計基準に則した経理業務を行っています。各事業所の事務職員と連携しながら経理課で取りまとめており、法人運営を支える重要なポジションを担っています。これからも安定的かつ継続的な法人運営を支えていけるよう、日々知識を深め精進してまいります。

☆ミニクイズ “簿記に挑戦!” ☆

ここで簿記のミニクイズを出題します。正解できるか挑戦してみてください。

- 第1問 仕訳の右側のことを何と言うのでしょうか？（ヒント:「借方」の逆）
- 第2問 水道代の勘定科目は何と言うのでしょうか？（ヒント:水道〇〇費）
- 第3問 10/10に水道代1,000円を現金で支払いました。

その場合の仕訳を記入して下さい。

	借方	金額	〇〇	金額
10/10	水道〇〇費			

いかがでしたでしょうか？解答はページ下部をご覧ください。

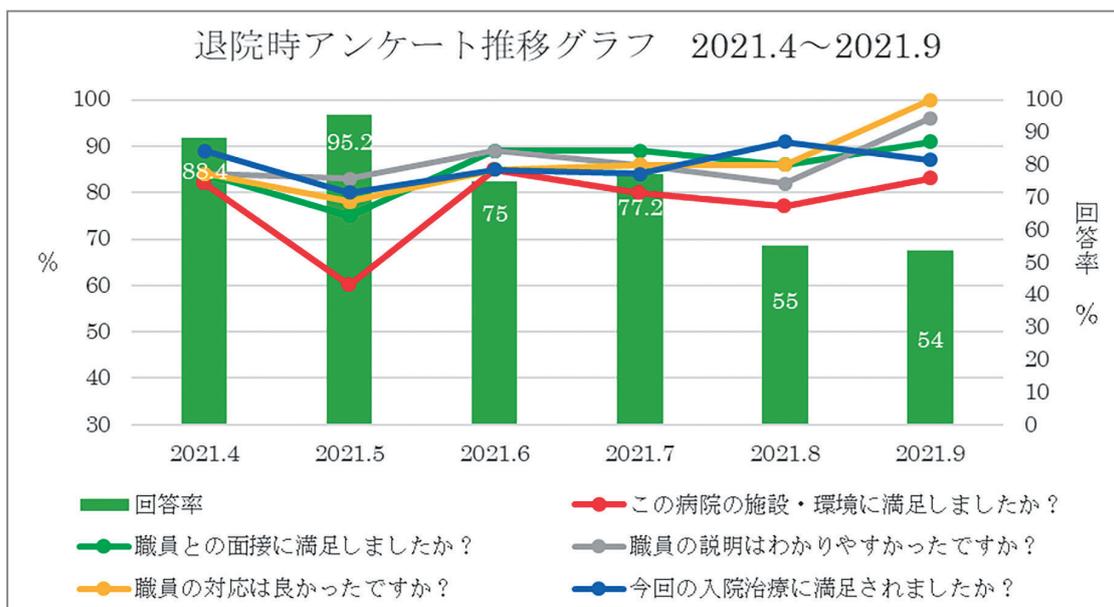
事務部 経理課 甲谷 怜奈

*解答
 第1問 貸方 第2問 水道光熱費
 第3問

	借方	金額	貸方	金額
10/10	水道光熱費	1,000	現金	1,000

退院時アンケート推移グラフ —2021.4～2021.9—

平川病院では、退院される患者さまにアンケートのご協力いただき、その集計結果を毎月検討しております。2020.5号・2020.10号・2021.5号の広報誌「みやま」へ掲載した続編として、「この病院の施設・環境に満足しましたか」「職員との面接に満足しましたか」「職員の説明はわかりやすかったですか」「職員の対応は良かったですか」「今回の入院治療に満足されましたか」の5項目（前回同様の項目）を抜粋し、データをグラフ化しました。



※折れ線グラフは、アンケートにて「はい」と回答いただいたパーセント、棒グラフは有効回答数を示します。

2018年11月より、委員会にて「回答率を増加させる」ことを再検討し、退院時に患者様へアンケートをお渡しするなど様々な取り組みを開始しました。回答率の平均は74%と比較的高水準となっており、ご回答いただきました患者さま・ご家族さまに御礼を申し上げます。引き続き、更なる「回答率を増加させる」を目指し取り組んでまいります。

上記グラフの推移を見ると、全体的に右肩上がりとなり、前回より若干高い回答をいただいています。「職員の説明はわかりやすかった」の回答が平均86.7%、「職員の対応は良かった」の回答が2021.9に100%の回答を頂くなど、高水準の%を維持しております。日頃より取り組んでいる職員の対応（接遇）等の質向上が実施された結果が表れ、一定のご評価を頂いたと職員一同感謝申し上げますとともに、この結果は職員への励みとなります。

ただ、2021.5に「この病院の施設に・環境に満足されましたか」の回答が60%の結果がございます。その後の推移を確認すると一時的ではあったものの、自由記載の中に、「車いす用のトイレが一つしかない」や「トイレの便座が座りづらい」など貴重なご意見を頂いております。こちらも含めどのような改善が必要なのか検討し、改善に努めてまいります。

今後も引き続き、医療についての説明と合意をより丁寧に行い、患者さまへ満足いただけるよう高度な医療提供を目指してまいります。何かございましたら、外来や病棟に設置しております意見箱に、是非、ご意見を頂戴いただければ幸いです。

栄養だより **予告** 郷土料理～愛媛県～

当院栄養科では「郷土料理 日本味めぐり」と題して毎月ご当地メニューを提供させて頂いております。今回は愛媛県のメニュー、鯛めし（宇和島風）を11月24日昼食に提供させていただきます！

愛媛県といえば『鯛めし』と聞いてよいほど愛媛県の方には馴染みのある郷土料理となっております。

鯛めしには2種類あり①鯛を丸ごと米と一緒に炊き込み、炊き上がった後で鯛の身をほぐし、ごはんと混ぜ合わせて食べるもの（今治市）と、②鯛の生の切り身を醤油、みりん、卵、ゴマ、だし汁を合わせたタレに漬け込みタレごとごはんにかけて食べるもの（宇和島市）があります。

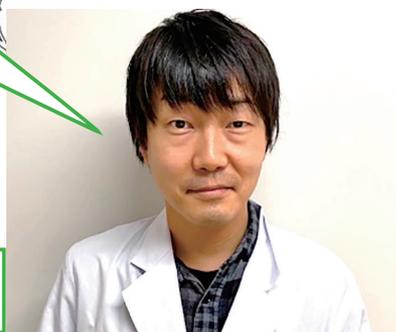
今回は②の鯛めしを提供させていただきます。ぜひ当日お楽しみに～！

★こだわりポイント★

- ・鯛は美味しく見えるように切り方や盛り付けを工夫しました。
- ・卵は生の卵黄のような見た目ですが、加熱済みの加工品なので衛生面でも安心してお召し上がりいただけます。



メニュー立案者
管理栄養士 浅見友則



栄養科 管理栄養士 遠藤 優

編集後記

みやまの発行数をふと見ると282号・・・300号まであと18号。みやまの創刊は1997年9月、2021年8月で24年、毎月発行されていれば（24×12+2）290号になるが（一時隔月の発行になった時期があり）ほぼ毎月発行されていると言っても過言ではない。創刊から2010年頃までは編集に関わり、毎月発行するというのは始めは大変であったが、そのうち生活の一部に……。最近記事を読んでいると内容が充実し、書き手の層も厚くなったと感じています。「みやま」の今後に期待して……。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076
電話 042-651-3131
FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします
kouhou@hhsp1966.jp

